

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミツギ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市御調町高尾200番地

(3) 業種

2453 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成15(2003)年度を基準とする平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

リョービのグループ会社であるリョービミツギは、以下の「リョービ環境方針」の下に活動しています。

「リョービ環境方針」

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品及びサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的及び経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定、見直しを行い継続的な改善を図る。
また、これらの活動を通じて経営計画の達成を図ると共に、社会の発展に貢献する。

1. ISO 14001規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
2. 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を遵守し、環境汚染を予防する。
3. 省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
4. 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防処置に努め、訓練を行う。
5. 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
6. 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
7. この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成15年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	/	12,047	5,039

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	/	/	/

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン	/	/	/
一酸化二窒素	/	/	/
HFC PFC SF ₆	/	/	/

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (t)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成15年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	12,047	5,770	2.09	6	7,661	3,889	1.97
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	○電気の原単位を6%削減	○冷暖房温度の適正管理 ○休憩時間の消灯の徹底 ○コンプレッサー電力節減 吐出圧力10%カット ○パソコン電力節減 離席時ディスプレイ電源OFF 省エネルギー中長期計画の実施 ○電動成型機導入 ○水銀灯の削減（作業場所以外） その他 CO ₂ 排出削減及び、省エネ関連資料 配付・掲示による、従業員の意識向上 を図る。
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

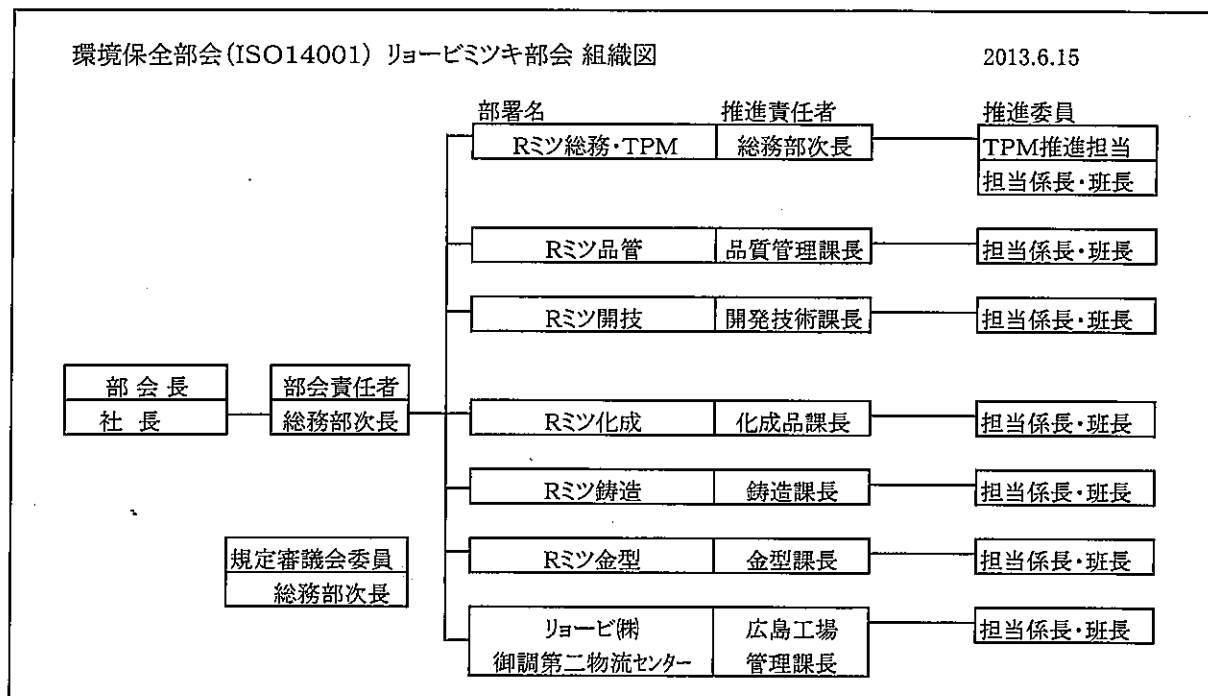
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減	リサイクル率を95%以上	○分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を95%以上	○廃棄物のリサイクル材料化実施
3	その他		○年2回会社周辺クリーン作戦実施 ○毎月アルミ缶回収実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

リョービ環境保全委員会の中のリョービミツギ部会として、ISO14001環境マネジメントシステムの活動の中で、省エネルギーの項目としてCO2削減を含めた目標を計画し、実施状況の把握・問題点の検討を行い、定期的に評価・見直し継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

リョービ環境保全委員会として、毎年、環境報告書作成し掲載している。

別紙 工場位置図

